

個 別 の 人 権 課 題		高 齢 者		
校 种	小学校	本時に関わる 3つの側面	知 識 的 側 面	○
対 象 学 年	第4学年		価 値 的 ・ 態 度 的 側 面	○
教 科 等	社会		技 能 的 側 面	◎
单 元 名	なくそうこわい火事			

1 単元の目標及び計画

(1) 単元の目標

地域社会における防災の取組について関心をもち、資料や聞き取り等を活用して調べることを通して、人々の安全を守るために消防署や関係諸機関の働きとそこに従事する人の働きや地域の人々の工夫や努力を考え、表現することができる。

(2) 単元の計画

- 1次・・・わたしたちのまちの火事
- 2次・・・消ぼうしょへ見学に行こう
- 3次・・・学校を火事から守るために
- 4次・・・大きなさい害にそなえる（本時を含む）

2 学習指導要領の該当箇所

小学校学習指導要領・第2章・第2節社会・第2各学年の目標及び内容・[第3学年及び第4学年]

2 内容

- (4) 地域社会における災害及び事故の防止について、次のことを見学、調査したり資料を活用したりして調べ、人々の安全を守るために関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を考えるようにする。
- ア 関係機関は地域の人々と協力して、災害や事故の防止に努めていること。
 - イ 関係の諸機関が相互に連携して、緊急に対処する体制をとっていること。

3 本時の目標

地域の人々の防災に対する取組について資料をもとに理解するとともに、災害時には、高齢者等の社会の中で弱い立場の人々が様々な支援を必要としていることを踏まえて、それらの人々の立場に立って必要な支援の在り方を考えることができる。

4 人権教育との関わり

この単元では、地域社会における災害及び事故の防止について学習する中で、個別の人権課題の一つである「高齢者」に関連する内容を取り扱います。具体的には、自分たちの住んでいる地域で起きた火事を事例として、消防署や市役所などの関係機関の働きとそこに従事している人々の努力や工夫について理解を深めるとともに、地域には高齢者をはじめとする様々な立場の人々が居住しており、特に社会の中で弱い立場にある人々が困っている状況や具体的な苦労等を想像しながら、それぞれの立場に立ってニーズに応じた必要な支援を考えることの重要さに気付かせることを大切にしています。

5 本時で育てたい3つの側面

知 識 的 側 面	人権を支援し、擁護するために活動している国内外の機関等についての知識
価 値 的 ・ 態 度 的 側 面	多様性に対する開かれた心と肯定的評価
技 能 的 側 面	他者の痛みや感情を共感的に受容できるための想像力や感受性 人間の尊厳の平等性を踏まえ、互いの相違を認め、受容できるための諸技能

6 本時の学習過程

学習過程等	人権教育との関わり等	資料等
<ul style="list-style-type: none"> ・臭気火災報知器を紹介し、なぜこのような装置が必要なのか考えさせる。 ・様々な支援を必要としている人々がいることに気付く。 <p>【課題】災害が起こった時に、自分たちが住む地域の高齢者の方々が安全に避難するためにはどのような支援が必要だろう？</p>		○資料「臭気火災報知器のチラシ」
<p>■学習活動（グループ）</p> <p>【お年寄りが避難する時に、どのような難しさがあり、どのような支援が必要か考え、グループごとに「だれー場面ー困ること」の形で整理して「助ける方法」を話し合おう。】</p> <p>(例) 耳の遠いお年寄りは避難が必要なことに気付かない。</p> <p>(例) 足の不自由なお年寄りは逃げ遅れるかもしれない。</p> <p>(例) 携帯電話を使えないお年寄りは助けを呼べない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いすー避難ー早く逃げられない ⇒助ける人を事前に決めておく ・お年寄りー火事ー消火できない ⇒力の不要な消火器 ・耳の遠い人ー避難ー気付かない ⇒視覚でわかる警報装置 など 	<p>【技能的側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者の痛みや感情を共感的に受容できるための想像力や感受性 <p>【指導上のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の立場に立って様々な状況を想像させることで、高齢者の置かれている不自由さや大変さに気付かせる。 	
<p>■学習活動</p> <p>【グループで考えたことを発表し合い、気付いたことや疑問に思ったことを全体で交流しよう。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助けの必要なお年寄りがどこにいるか、どうすれば分かるのか。 ・緊急ボタンのつながる先はどこにすればよいか。 ・設備の整った老人ホームなどで生活すれば安心できるのではないか。 	<p>【技能的側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳の平等性を踏まえ、互いの相違を認め、受容できるための諸技能 <p>【指導上のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者だけでなく、障害者や外国人等、支援を必要とする人は多様であるという見方をもたせる。 	
<p>■学習活動</p> <p>【お年寄りはどんな思いをもっているのか、お年寄りが書いた手紙を読んで考えてみよう。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人ホームに入るにはお金がかかるし、住み慣れた自宅で暮らし続けたいと願っている人もいる。 	<p>【価値的・態度的側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様性に対する開かれた心と肯定的評価 <p>【指導上のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間には一人一人にそれぞれの気持ちがあり、それらをできるだけ尊重しながら支援策を考えようとする姿勢が大切であることに気付かせる。 	<p>○資料「お年寄りの手紙」</p> <p>○資料「A市の避難行動に関する資料」</p>
<p>■学習活動</p> <p>【資料「A市の避難行動に関する資料」からA市がどのような支援を行っているか読み取ろう。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の自治会はA市と協力して、要支援者のリスト作成を進めており、町内の要支援者は〇〇名いる。 ・リスト作成済みの自治会の割合は□□%であり、リスト作成のことをもっと知つもらうことが必要である。 ・日頃から要支援者を把握し、必要な備えをしておくべきである。 <p>【まとめ】災害などの支援においては、要支援者の状況やニーズに応じた多様な支援策が必要であり、市役所や地元の自治会は協力して支援しようとしている。</p>	<p>【知識的側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権を支援し、擁護するために活動している国内外の機関等についての知識 <p>【指導上のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方自治体は様々な住民のことを考え、支援策を講じてることを確認する。 	